※令和３年度以前入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ①	単位数	２	年次	２～３
使用教科書	新編古典Ｂ　改訂版　（大修館書店）						
副教材等	みるみる覚える 古典単語 300+敬語 30　（いいずな書店） みるみる覚える 古典単語 300+敬語 30 準拠 みるみるノート　（いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古文と漢文を読む能力を高め、幅広い教材から古典についての理解や関心を深めます。
・講義形式・実習形式で授業をすすめます。小テストやレポート作成・演習・発表等を行うこともあります。
・教科書・副教材・ノート・筆記用具の他に、ChromeBook を使うこともあるので、注意してください。

２　学習の到達目標

・古文と漢文を読む能力を高め、幅広い教材から古典についての理解や関心を深める。
・先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。			まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	記述の点検 行動の観察 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析 （ノート、ワークシート等） 定期考査	記述の確認 行動の観察 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

それぞれが示す観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、前期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容や単元に応じて、観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期(後期)	説話	『御伽草子』 一寸法師	○					a:教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 d:登場人物とその関係を読み取っている。 e:地名について地図などで確認している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析(ノート・ワークシート・等) e:定期考査・小テスト
	随筆	『徒然草』 今日はそのことをなさんと思へど				○		a:随筆に関心をもち、取り組んでいる。 d: 中世の無常観について理解している。 e:基本的な助動詞や助詞の意味・用法や、係り結びを理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析(ノート・ワークシート・等) e:定期考査・小テスト
	歌物語	『伊勢物語』 初冠					○	a:歌物語について、また、歌物語における和歌の役割について理解を深めようとしている。 d:登場人物の行動と心情を読み取っている。 e: 当時の生活や文化について理解を深めている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析(ノート・ワークシート・等) e:定期考査・小テスト
	故事成語	『借虎威』	○					a: 漢文に親しみ、故事成語への理解を深めようとしている。 d:本文を正確に読み、書き下し文にしている。 e:漢文の基本的な構造について理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析(ノート・ワークシート・等) e:定期考査・小テスト
	故事成語	『朝三暮四』				○		a: 教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。 d: 故事成語の意味を正確に理解している。 e:返り点、助字、再読文字などの訓読のきまりを理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析(ノート・ワークシート・等) e:定期考査・小テスト

※令和３年度以前入学生用

	漢詩	『絶句』					○	a:唐代の詩に親しみ、理解を深めようとしている。 d:詩に描かれた情景や作者の心情を読み味わっている。 e:絶句や律詩の形式（字数・句数・押韻・対句）について理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析（ノート・ワークシート・等） e:定期考査・小テスト
	思想	『不忍人之心』				○		a:性善・性悪をめぐる古代思想家の考え方を理解し、自らの人間観に役立てようとしている。 d:人間の本質についての孟子の考えを読み取っている。 e:重要な語句や句法について整理し、理解を深めている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び分析（ノート・ワークシート・等） e:定期考査・小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度
d:読む能力
e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。